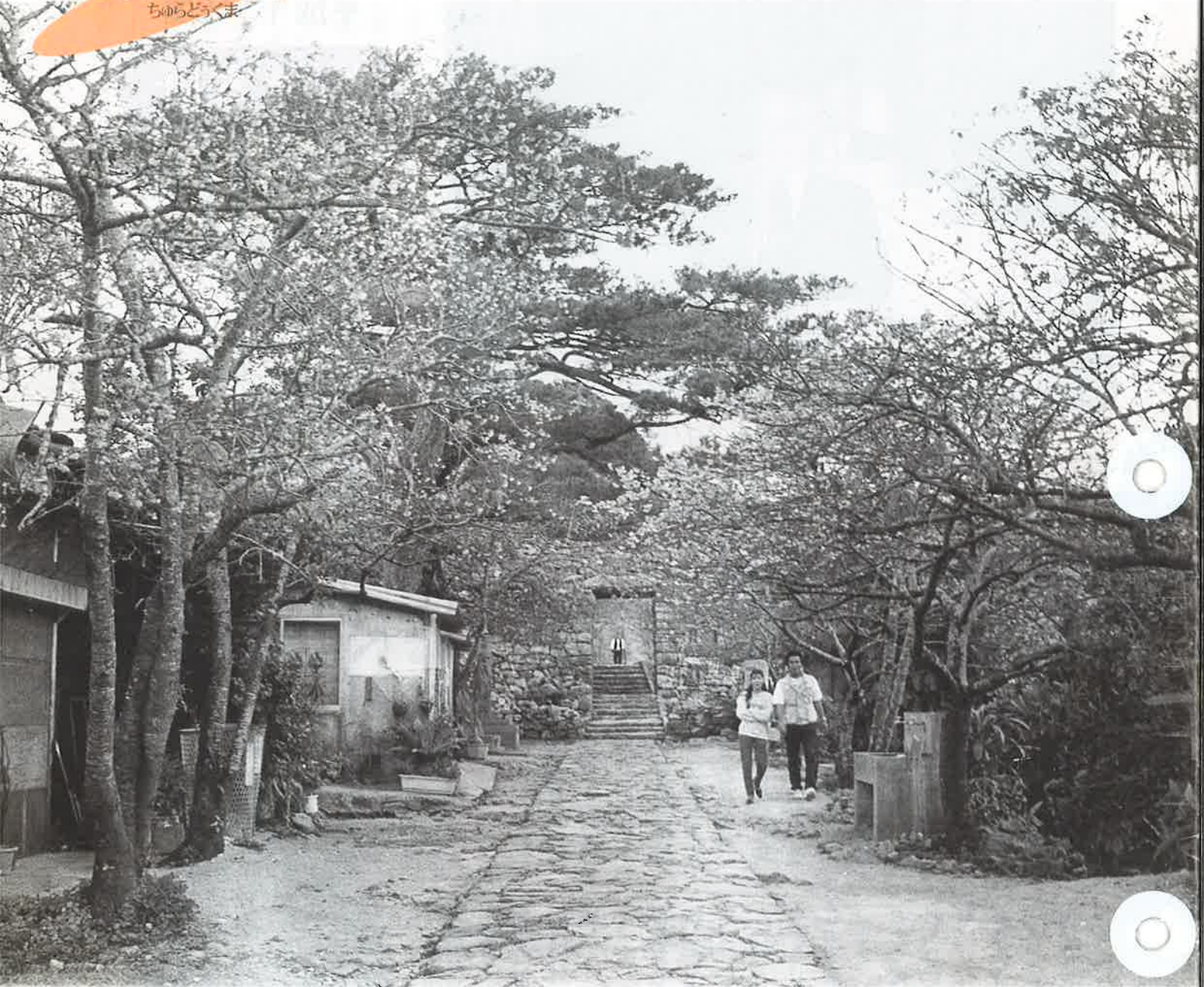


三 美しき空間 三

ちゆらどくま



●「グスク」 (Photo:Karin Ueno)



今帰仁村

# なまきじん

## 広報

Nakijin

毎月1日発行

- 今帰仁村民憲章
- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
  - 二、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
  - 三、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
  - 四、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
  - 五、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

2001年 **4**月  
305号

平成13年度

## 施政方針

# 自然と歴史と文化

## 地域の特性を活かした

## 住みよい村づくりに邁進



### はじめに

本日、二十一世紀最初の議会である平成十三年今帰仁村議会第一回定例会の開会にあたり、諸議案の説明に先立ち、村政運営に対する基本姿勢と所信の一端を申し述べ、村民並びに議会の御理解と御協力を賜わりたいと存じます。

さて、私は平成十二年八月二十三日就任いたしました。私の村政の基本は、地方自治の精神を基に公平公正で常に村民本位の行政を推進していく所存でございます。今、我が国は社会的にも、経済的にも依然として厳しい

情勢にあり、その中であって本村は、平成十二年度より過疎地域指定から除外され、これまで以上に村の財政状況が厳しくなることが予想されます。従いまして、今後の村行財政運営にあたっては更に綿密な計画を立て、役場、議会、村民が英知を結集し、一丸となって村政に取り組みなければならぬと考えっております。

また、私達の祖先から残された今帰仁城跡が昨年の十二月二日に世界遺産に登録され、これからの村活性化に大きな期待が寄せられているところであり、今後城内の発掘保存整備、周辺環境整備を積極的に進めてまいりたいと

存じます。

なお、本年度の主たる事業といたしましては、中学校統合に向けての校舎建築等の事業、北部振興策による茸工場の建設、運天漁港局部改良工事、道路新設改良工事六本が計画されております。また、古宇利大橋、運天港の整備も着々と進んでおり、さらにワルミ架橋関連事業も着工の運びとなっております。

どうか今後の村政のスムーズな運営、発展をめざして、議会をはじめ村民の皆様のご指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成13年の第1回今帰仁村定例議会が3月8日開会、議案審議に先立って仲里吉徳村長は、自然と歴史と文化、地域の特性をいかした活力ある住みよい村づくり推進のため、新年度の村政運営の基本方針及び所信の一端を表明しました。なお、村長の提案事項と一般会計予算の概要を今月号から来月号にわたり紹介します。

予算編成について

我が国経済は、バブル期の後、いまだに景気回復の軌道に乗っておらず、企業や消費者の我が国経済の先行きに対する信頼感の低下から景気は足踏み状態となっている。

しかし、本村のような地方経済圏にあつては景気を肌で感じるまでには至っていないのが実情であつたが、最近は景気の影響を受けるようになっております。景気浮揚の環境としてはまだまだ弱い状況であります。そこで本村におきましても、村税の大幅な増収が望めない状況から予算全般を見直す基本姿勢に立つとともに、歳入の適正なる確保に努め、歳出面では、既存の制度、施策の見直しを行いました。同時に経常経費の節減・合理化を図り、極力財源の確保をしつつ、各種施策の実施にあつては緊急性等を勘案しながら厳しい事業選択を行い財源の効率的配分に努めるとともに、健全財政の堅

持を基本として編成いたしました。

平成十三年度の予算規模は五、四七二、五〇三千元で前年度と比較して九八六、〇〇〇千円の増加、率にして二二%の増となっております。主な理由は、統合中学校建設事業が六八九、六七三千元、北部振興事業六四二、九七五千円の増となっていることが主な要因です。このような状況から平成十三年度は、国、県の補助金等による財源の確保ができる事業から優先的に予算措置をいたしました。ここで平成十三年度一般会計の歳入、歳出につきまして、その主な内容について申し上げます。

1 歳入

歳入の四〇・二%を占める地方交付税は、国の策定する地方財政計画及び前年度の実績等を勘案し、四〇、七四五千円の減額をいたしました。また村債として主なものは、村立統合中学校事業三五八、二〇〇千円、道路が六本で一

八五、九〇〇千円、北部振興事業六四、二〇〇千円、集落地域整備事業一〇、三〇〇千円となっております。

2 歳出

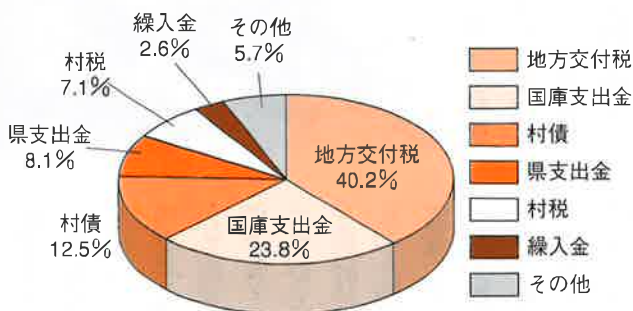
歳出については、農林水産業費の増が最も大きく、八〇七、四一三千円の増額で、北部振興事業等となっております。教育費は二六四、五三五千円の増で、統合中学校建設事業となっております。土木費は一〇九、六九三千円の減となっております。

なお、将来にわたつて社会資本の整備を維持していくためには、年々旺盛な財政需要が見込まれることから、今後とも自主財源の確保は不可欠であると考えております。村の将来を展望するとき、社会資本の整備など高齢化社会の対応と若者定着に備えるため、企業等の誘致による自主財源の確保を図らねばならないと考えております。

平成13年度 一般会計予算

歳入

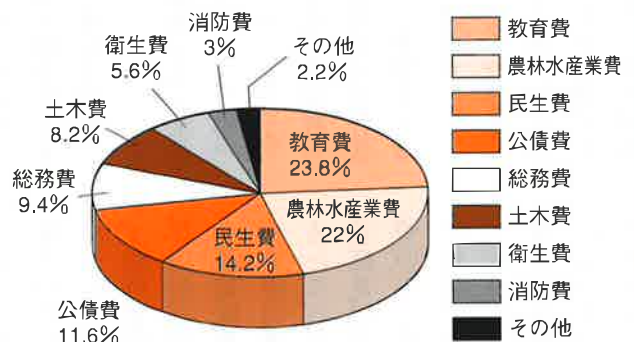
54億7,250万3,000円



地方交付税	2,196,736	村税	388,186
国庫支出金	1,300,613	繰入金	141,242
村債	691,907	その他	311,672
県支出金	442,154		

歳出

54億7,250万3,000円



教育費	1,300,669	土木費	448,348
農林水産業費	1,201,537	衛生費	307,645
民生費	776,594	消防費	165,000
公債費	633,171	その他	125,728
総務費	513,811		

### 税務行政について

村税は、地域経済活動の振興、生活福祉の向上を図るなど共同社会を維持発展させていく上で最も基幹をなす自主財源であります。

このような自主財源である村税を伸展させ徴収を強化することは村発展の大きな方途であります。

十三年度の予算に占める村税は七、一％で三八八、一八六千円となっております。

地籍図デジタル化導入については、現在、小字集成図はフィルム図面で作成されているため、複製を作るのに時間と費用がかかりすぎる感は否めません。こうしたアナログ的な図面は往々にして使いづらさがあり、必要な場所を探すのに時間がかかり不便をきたしております。デジタル化することにより、各部署での使用もデータの共有が図れるため同じ資料で対応が可能です。また探したい場所を瞬時に探せるので住民サービス及

び事務改善を図られるものと考えています。

今年も公正、公平な賦課を基本とし、徴収にあたっては名護税務署、名護県税事務所等の指導を仰ぎつつ税務行政を推進し、税収の向上を図ってまいります。

### 高齢者福祉について

本格的な高齢化社会の到来とともに、本村の高齢化率は、平成十二年十二月末現在で二四、三％で、すでに四人に一人が六十五歳以上という超高齢社会を迎えております。



このような高齢化の進展の中で、高齢者が住み慣れた家庭や地域において健康で生きがいのある生活ができるようにするとともに、介護を要する状態になっても、必要とする保健福祉サービスが、「いつでも、どこでも、だれでも」受けられ、さらに、在宅生活と施設入所を柔軟に選択できる提供体制を推進しなければなりません。そのためには、在宅生活が困難な場合には適切な施設が利用できるよう、養護及び特別養護老人ホーム並びに老人保健施設との連携を図りつつ、身近な地域で在宅福祉サービスと施設福祉サービスが一元的に提供できるように、取り組んでいく所存であります。

また、今後、七十五歳以上の後期高齢者人口の割合がさらに増大していくことから、寝たきりや痴呆性要介護高齢者等が急増していくことも予想されます。

このように、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因



けられるよう、サービス実施機関等との連携に一層努めるとともに、特に、在宅サービスについては、村社会福祉協議会を基軸に民間事業者の参入も促進し、介護サービス基盤の質・量両面にわたる整備に努めてまいります。

同時に、平成十一年度から、介護老人保健施設に委託実施している在宅介護支援センター運営事業の充実強化に努め、地域の要介護高齢者等の介護サービスの向上を図ってまいります。

また、低所得者への支援対策といたしましては、法施行時から、ホームヘルプサービス利用者負担の軽減、利用者負担の上限額に関する配慮、介護保険施設入所者の介護費や食費の減額等が行われているところですが、今後とも引き続き国の制度や事業等に基づいて、低所得者の負担軽減に努めてまいります。

制度の実施概況をみると、平成十二年十二月分で、第一号被保険者数二、二九〇人、要介護(要支援認定者総数三四七人、保険給付決定総件数四一三件のうち、在宅サービスが二六一件、施設サービスが一五二件となっております。今後とも、要介護高齢者が自らの意思で、しかも安心して質の高い介護サービスが受

さらには、高齢者ができる限り寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態が悪化するのではないよう、介護予防・

生活支援事業の実施強化に努めます。

併せて、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進するため、老人クラブの活動等については、引き続き介護保険の周辺施策として位置づけ、支援を図ってまいります。

### 障害者福祉について

障害者が社会の一員としていきいきと暮らしていくためには、障害者自身が主体性をもって積極的に社会参加していくよう、努力することが必要となります。しかしながら、

障害者を取りまく社会環境においては、物理的障壁、制度的障壁、文化・情報における障壁、意識上の障壁等障害者が参加していくうえで様々な障壁があります。このような障壁を除去していくことにより、障害者が各種の社会活動を自由に行うことができるような平等な社会づくりを進めていくことが今後の重要な課題となっております。

また、障害者に対する福祉施策全般について、障害者の生活の質の向上を図る観点から、生活安定のための施策や福祉サービスの充実に努めていくことが必要と考えております。

村においては、障害のある人もない人も住み慣れた地域で共に生活し、活動する社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念のもとに、平成十年三月に「今帰仁村障害者保健福祉計画」を策定し、村の総合的な障害者施策を推進しているところであります。

今後とも、村心身障害児(者)親の会や村心身障害者福祉協会などの障害者関係団体等の活動支援の強化に努めるとともに、既存の諸制度・事業の拡充に努め、障害者の自立と社会参加の促進を図ってまいります。

### 国民健康保険について

国保は村民の健康の保持増進に重要な役割をこなっております。国保事業を安定的に



み国民健康保険財政は依然として厳しいものがあります。

このような状況の中、二十一世紀における国民健康づくり運動の健康日本二十一の目的を定め、その中で、国民健康保健事業を健全で円滑に運営していくためには、これまで以上に保健予防課と連携して進めている高齢者健康指導事業の一環として、非常勤の看護婦二名を配置し、保健指導を徹底し、重複多受診者、成人訪問指導、生活習慣病予防教室、レセプト内容点検の強化に努め、村民の健康づくりに万全を期し、医療費の抑制に努めていきたいと考えております。

運営するためには国保に対する村民の理解が大きな要件であると考えております。国民健康保険を取り巻く環境は厳しく、最近の公衆衛生の向上、医学、医療技術の進歩、人口構造の急速な高齢化等にもない保険給付費、医療費が毎年増大しております。今日の社会経済情勢を反映して、国保制度は構造的に低所得者、無職者層の加入割合が高く、高齢者の比率が二四・三%と年々高くなっており、老人医療費の増加とからんで保険税の収納率が伸び悩

また、収納率向上対策といましては、平成十二年十月より嘱託徴収員二名を配置し、徴収体制の強化、村民への納付の周知徹底をうながすため、毎月定期的な日曜、休日に納税相談窓口を開設し、共働き、昼間不在者及び長期

### 国民年金について

滞納者の納付相談を図りながら、職員、嘱託徴収員、関係者一丸となって、滞納整理、収納率向上対策を推進していきます国民健康保健事業の健全な運営ができるように、なお一層努力していく所存であります。

国民年金制度は、老齢、障害または死亡によって国民生活の安定がそなわれることを国民の共同連帯によって防止し、健全な国民生活の維持、及び向上に寄与することを目的にすべての国民に共通する基礎年金を支給する給付体系となっております。

個人の日常生活や長い一生の間にかかる様々な危険性から国民の生活を守り、安定した生活が送れるようにするのが国民年金制度であります。また、私たちの生活に身近な年金ですが、受給世代でないとなかなか実感がかわかないのも事実です。超高齢社会を迎えつつある

我が国の六十五歳になつてからの平均余命も延びている中で、更に核家族化が進み、高齢化世帯が増えている今日では、国民年金の国民生活に果たす役割や重要性はますます増大しています。

本村における、平成十二年度末の国民年金受給者は二、四〇七人で、総受給額十四億六千八百万円と巨額に達し、村民生活及び福祉の向上と、村経済に大きく貢献しております。

未納者対策といたしまして、国民年金収納特別対策事業及び未加入者適用の推進実施により実施月数、検認率の向上に努め、各字推進委員、指導員の協力を得ながら、無



年金者、無年金予備軍を一人でも少なくするように、適用もれ者の加入促進、長期、短期未納者等の夜間訪問指導、口座振替を積極的に推進し、検認率の向上を図るとともに村民福祉の向上に努める所存でございます。

### 児童福祉について

近年、出生率の低下に伴う少子化、核家族化の進行など、子供と家庭を取り巻く環境が大きく変化しております。

このような状況の中、子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりを進めることは極めて重要な課題であります。

児童は本来、家庭において両親の愛情に守られ健全に養育されることが望ましいが、児童の中には、保護者がいないかまたは保護者に監護させることが適切でないことがあります。

このような監護にかける児童には、児童福祉の面からで



ります。

保育事業については、豊かな人間性と創造性に富んだ心身ともにたくましく健康な児童の育成のため、保育環境の整備を図るとともに、障害児保育についても保育所の持つ機能を活用し、健常児とともに保育することによって成長を全面的に支援して、障害児を早い時期に保育することで成果を収めており、引き続き障害児保育を推進してまいります。

近年、女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、保育所における低年齢児保育など保育需要の多様化への対応が大きな課題となっております。

本村では、平成十一年度から中央及び仲宗根保育所、平成十二年度から今帰仁及び仲尾次保育所で乳児の受け入れを実施しているところですが、引き続き乳児保育を推進してまいります。

### 地域福祉について

社会福祉は「生存権の保障」を理念とし、最低限度の生活水準の確保を原則とした社会保障制度の一環として体系化されております。

社会的に弱い立場にある方々を支援していくためには思いやりの心や自立する精神を培うことが大切であります。

本村では、社会福祉協議会を中核にコミュニティセンターを拠点施設として、様々な地域福祉活動が展開されているところであり、

地域福祉の推進に当たっては、公的施策とあわせて、村民の幅広い連帯と善意に支えられた民間福祉活動の展開が不可欠であります。

また、引き続き「高齢者介護予防・生活支援」、「身体障害者ホームヘルプサービス」等の事業を村社協に委託するとともに「障害児通園（デイサービス）」、「おとば学園」、「ボランティア育成事業」、「低所得者援護活動」、「心配

「ごと相談」等各事業実施に対する助成を行っていきたくと考えております。

おとば学園が中心となって運営している地域交流プラザ



「パル」は、障害者や高齢者の社会参加、生きがいづくりのため、おとば学園の活動の場としての充実を図っていきたくと考えております。

また、おとば学園は小規模作業所として、昭和六十一年四月設置以来、何らかの障害を持った方々が、地域の中で自立と社会参加の実現を目指し、訓練や活動を行ってきておりますが、その果たしている社会的役割は大きいものがあります。

村といたしましては、この

度の社会福祉事業法の改正の趣旨を踏まえ、法人化に向けて、県や関係団体と連携を密に取り組んでまいります。

今後とも、地域福祉活動の推進母体となる村社協、民生委員・児童委員の組織活動等さらに、保健、医療、福祉関係者の連携により障害者も高齢者も可能な限り在宅、地域で普通に生活ができるよう、社会福祉の充実強化を図り、うるおいと安らぎのある村づくりに努めてまいります。

### 保健事業、 環境衛生について

急速に進む高齢化に伴う障害の増加、生活環境の変化による生活習慣病等の慢性疾患の増加、地域保健サービスに対するニーズの高度化、多様化などにより近年の健康をとりまく状況は著しく変化しております。

「健康で明るく元気に安心して生活できる」ことは住民の誰もが等しく願うところであり、このことを実現するた

めには、健康を自分自身でコントロールできるように一人ひとりの能力を高めることです。そのためには、住民一人ひとりが自主的に健康をコントロールできるように最適な支援を行うことが必要であり、それは行政に課された最大の使命でもあります。

本年度も保健センターを拠点に、健康教育、健康相談、機能訓練等の実施、住民健診等を積極的に推進します。また、健康手帳交付、訪問指導、精神障害者のデイケア、健康づくり事業の推進を図ります。

平成十一年度より実施して



いるゆいまーるで健康づくり事業は、今年も九カ字で実施する予定であり、地域の協力のもと高齢者の社会的な交流等の支援を推進します。

次に乳幼児の心身の健全な発育と母性の保護を目的とした「乳児健診」「一才半、三才児健診」「歯科相談」「妊婦一般検査」「乳幼児への医療費助成」等の母子保健事業、各種予防接種事業等については引き続きその充実強化に努めます。

老人保健は、老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため極めて重要な制度であります。

超高齢社会を迎え年々増加している医療費の抑制及び疾病予防の観点から、医療費通知、レセプト点検、第三者行為求償、看護婦による訪問指導の充実を図り適正医療のあり方についての啓発活動を展開いたします。さらに本村の健康づくり推進協議会との連携を図りつつ健康まつりの開催

等、住民参加による保健活動を推進いたします。



次に環境衛生について、物質的豊かさの追求による大量消費、大量廃棄を問い直し、住民が健康で文化的な生活を送ることができ環境が必要であります。

正しいゴミの出し方やリサイクル、産業廃棄物や不法投棄されたゴミの対策等については、本部町、今帰仁村清掃組合をはじめ、本部町とも連携を密にし環境及び公衆衛生の向上を図ります。

また、水質汚濁等の公害問題、墓地、狂犬病対策等住民の理解とご協力を得ながら環境衛生の業務全般にわたって積極的に推進します。



## フォト ニュース



▲インターネットを通して広く今帰仁が紹介される

**今帰仁の魅力の世界に発信！**  
**村内有志らがホームページを開設**

# むらの話題

広報なきじんに  
情報をお寄せ下さい。

〒905-0492  
今帰仁村役場「広報なきじん」

今帰仁のあらゆる情報を掲載した参加型のホームページ「なきじんドットコム」が今帰仁の活性化を目指す民間団体「ユートピア」(石川清和会長)のメンバーらの手によって開設され、県内外はもち

ろん遠くは南米からもアクセスがあるなど注目を浴びている。この「なきじんドットコム」には、昨年末、世界遺産に登録された「今帰仁城跡」をはじめ、村内で行われる行事や催し物、むらの出来事などが幅広く紹介されてきているほか、今帰仁商工会や今帰仁に関連するホームページにも瞬時にリンク可能でより多くの情報を覗けることができるしくみになっている。そのほか、気軽に意見や質問の書き込める「掲示板」は利用する人達のコミュニケーション

ろん遠くは南米からもアクセスがあるなど注目を浴びている。この「なきじんドットコム」には、昨年末、世界遺産に登録された「今帰仁城跡」をはじめ、村内で行われる行事や催し物、むらの出来事などが幅広く紹介されてきているほか、今帰仁商工会や今帰仁に関連するホームページにも瞬時にリンク可能でより多くの情報を覗けることができるしくみになっている。そのほか、気軽に意見や質問の書き込める「掲示板」は利用する人達のコミュニケーション



の場にもなっておりなかなかの好評。多い日は一日に二十件を超すメールが届くなど「返事を出すのが大変」と関係者もうれしい悲鳴をあげている。地域の子どもたちを相手に無料でパソコン教室を開くなどパソコンの普及にも熱心な開設者代表の石川清和さんは「だれもが気軽にパソコンを扱えるよう早く慣れ親しみ、多くの情報を吸収、発信してもらいたい、そして将来は生産者独自で今帰仁の産物をネット上で直販するまでになれば」とITを利用して、村の教育、経済の活性化につなげようという意気込んでいます。

なお、同ホームページ「なきじんドットコム」には「広報なきじん」も掲載されており、インターネットでもご覧になれます。「なきじん・ドットコム」のホームページアドレスは次の通り  
<http://www.nakijin.com>

の場にもなっておりなかなかの好評。多い日は一日に二十件を超すメールが届くなど「返事を出すのが大変」と関係者もうれしい悲鳴をあげている。地域の子どもたちを相手に無料でパソコン教室を開くなどパソコンの普及にも熱心な開設者代表の石川清和さんは「だれもが気軽にパソコンを扱えるよう早く慣れ親しみ、多くの情報を吸収、発信してもらいたい、そして将来は生産者独自で今帰仁の産物をネット上で直販するまでになれば」とITを利用して、村の教育、経済の活性化につなげようという意気込んでいます。



▲優勝した兼次小学校女子ミニバスケット部を囲んで...

## 悲願の初優勝に歓喜の涙！ 兼小ミニバスケット部が国頭地区制覇！

ンス強化のため練習を積み重ねてきた。試合ではその成果を遺憾なく発揮し、準決勝では前回準優勝校の塩屋小を抑え、決勝でも前回優勝校の大宮小を大接戦の末下し、念願の初優勝を納めた。終了のホイッスルが鳴り響くと選手も監督も感激のあまり、コート上、涙を流して喜び合い、会場からも健闘をたたえる温かい拍手が送られていた。

主将の与那嶺愛(六年)さんは「練習したディフェンスが試合でうまくいった」と勝因をあげ、本村三男監督も「子どもたちの頑張りとお父や母らの支援のおかげです」と感謝を述べた。

二月二十四、二十五の両日金武町営体育館を主会場に行われた第四十八回国頭地区ミニバスケットボール交歓会で兼次小学校(金城小夜子校長)女子ミニバスケット部Aチームが念願の初優勝に輝いた。同校のミニバスケット部は、これまで実力を認められながら、今回は早朝練習を取り入れるなど、課題のディフェ

今大会は四つのクラスの決勝に今帰仁勢三チームが進出、男子Aクラスでは湧川小学校Aが、女子Bクラスでも兼次小学校Bチームが共に準優勝に輝くなど今帰仁勢の健闘が光る大会であった。





# Photo News

## 健脚競い さわやかな汗!

### 天底小学校で校内マラソン大会



▲一流選手の末松隆二さんと肩を並べて走る

子ども達の体力の向上を図り、ねばり強い心と挑戦する意欲を高めようと天底小学校(天城淳稔校長) 恒例のマラソン大会が三月三日、同校グラウンド及び校外コースで行われ、コース沿いに詰めかけた大勢の父母らの声援のなか、幼稚園児から六年生まで競争の部とトリムの部に健脚を競いあつた。



▲自己への挑戦! がんばるぞ

この日は以前、天底小学校で勤務していた経験のある県内長距離トップランナーの末松隆二選手(沖縄愛楽園職員) が特別に招かれ、学年ごとの全競技に出走した、子供たちは有名選手と肩を並べて走ることに満足した様子でさわやかな汗を流していた。五年生の部で優勝した石川太一くんは、インタビュで「練習では一位になれなかったけど、優勝すると親になにか買ってもらえるのではと思って頑張れた」と答え、会場は笑いの渦に包まれた。



▲老若男女がにぎやかにプレーを楽しむ

グラウンドゴルフを通して健康づくりと世代間交流を図ろうと三月三日、古宇利中学校グラウンドで地域の方と

## グラウンドゴルフで世代間交流!

### 古宇利地区で「親睦交流グラウンドゴルフ大会」

子どもたちが集う「親睦交流グラウンドゴルフ大会」が開かれた。

この催しは、地域住民が主体的に行う健康づくりを支援する「ゆいまーる事業」と地域交流を目的に行われる学校の「地域ふれあい事業」がタイアップして行われたもの。この日は、ほかほか陽気の中、子どもと大人の二人一組

でペアを組み、交互にボールを打ちながらホールを廻る特別ルールのもと、一打一打に歓声をあげながらなごやかにプレーを楽しむ姿が見られた。ここちよい汗を流したあとは、地域の方が差し入れた手作りのカステラをいただきながら会話ははずみ、参加者らは楽しいひとときを過ごしていた。

## 活かして下さい 女性の声を村政に!

### 村商工会女性部が村長と意見交換

三月二日「村長と商工会女性部の懇談会」(主催・今帰仁村商工会女性部)が村商工会館で開催され、参加した十五人の女性部の皆さんが村長を囲み熱心に意見を交わした。五年ぶり二度目の開催となったこの懇談会は、行政について学び、女性部会員の資質の向上を図ろうと行われた

もので、はじめに仲里村長が今後の村づくりについての概要を説明、そのあと参加者から「仲宗根商店街の活性化」や「中学校跡地利用」「ゴミやリサイクルを含めた環境問題」などの多岐にわたる意見や質問が寄せられた。懇親会終了後、仲里村長は「地域の商工業に携わる女性



▲和やかな中にも商工業者の声を伝える

の生の声を聞かせてもらった。今後、行政、地域それぞれの役割を認識しつつ、村の活性化に取り組みたい」と語った。

今帰仁村地域  
新エネルギービジョン

アンケートから見える

# 今帰仁村民・村内企業の

## 「新エネルギー」像



— 企業編 —

今回の地域新エネルギービジョン策定等事業においては、風力発電施設の導入検討を中心に村内のエネルギー問題、環境問題、人口問題を解決する方向性を打ち出し、併せて行政、地域住民、民間等の参加と連携のもと、自然環境活用システムの開発と実用化を図りつつ、自然環境保全づくりとしての気運の醸成を図ることを事業目的としています。

以上のような背景を踏まえたうえで、私たち自治体としても、国のエネルギー政策の一翼を担う意味において、「個々人の趣味・趣向が益々多様化する二十一世紀において、各人が様々な新エネルギーの中から各々のライフスタイルにマッチした新エネルギーを創造・利用することにより、地球環境に調和した快適な新しいライフスタイルの創出」を地域で取り組むねらいです。

### 一 エネルギー・環境に関する取組みについて

Q1 貴社の事業活動が環境に与える影響について

影響はあるが小さい 71・4%  
影響はかなり大きい 14・3%  
影響は全くない 9・5%  
七割弱の企業が「影響はあるが小さい」と答えている。

Q2 身近にできることの1つに省エネルギーがあるます。貴社で取り組んでいる省エネルギー対策は？  
「照明等の節電」が八割強、

「適正な冷暖房の温度設定」が八割弱。「節水」が六割弱と複数回答では、身近で実践しやすく、費用面でも効果のある対策が取組みやすいと言える。

Q3 貴社が企業として地球環境保全に取り組めること、あるいは今後、重点的に進めたいと思われることはなんですか。(複数回答)

「資源リサイクルの実施」・「廃棄物の削減」が六割強、「社員の意識啓発」が五割半と実施が容易で、なお

かつ実施することによりランニングコストも抑えられる対策を中心に進めたいという意向がうかがえる。

### 二 新エネルギーの導入意向 村への要望について

Q4 新エネルギーシステムの導入状況、導入計画について

「事業所の形態や事業内容上、導入可能」という回答が多いものの、太陽光発電やクリーンエネルギー自動車などの導入しやすいものに関して

は、関心の高さがうかがえる。

また、新エネルギー導入を考えない理由はどれにあてはまりますかの複数回答では、設備資金の調達が困難、コストが高い等の費用の問題や助成制度が不十分であると、住民アンケートと同じく、費用の負担が最大の障壁となっている。

Q5 新エネルギーを導入する場合、行政に何を要望しますか。重要だと思われるものを複数回答

六割強が「融資制度の充実」次に「情報提供の充実」「専門家の派遣」となっており、まず費用面でのバックアップ、次に具体的な導入や導入後の効果に関しての知識を必要としているものと思われる。

Q6 他の事業者と共同であるいは村と共同で新エネルギーを導入する場合、どのようなことに協力することができそうですか。

「ボイラー熱源に周辺事業者のゴミを活用する」が三割弱など潜在的に協力意欲はあることがわかる。

Q7 地球温暖化対策やエネ

ルギー資源を将来へ維持させるため、新しいエネルギーを利用したむらづくりに取り組む必要があると考えています。このため、小中学生や一般住民のためのエネルギー学習も一つの方法です。学校や村が主体となって行うエネルギー学習へ協力できますか。

「協力できない」と答えている企業は一社もなく、協力意欲は充分にあり、これから企業に依頼できる内容を具現化する必要があるといえる。

### 三 意見のまとめ

新エネルギーに関しての意識は一般住民よりも高く、太陽光・風力だけでなく海洋エネルギーに関しての意見もある。エネルギーに関して技術的に企業努力を行っている事業所もあるが、新エネルギー導入に関してのネックはやはり費用面であり、行政による導入を望んでいる声は高い。村の事業者としてエネルギー学習等での協力意識は高く、村全体の意識向上に関して意欲的だと言える。

# なきじん この人 (5)

手品を通してボランティア活動  
上間 吉夫さん (越地)



これまでの数多くの出演依頼に「喜んでもらえるのなら」と快く引き受けてきた上間さん。そんなところが上間さんの人の良さなのだろう。

子ども達から「手品のおじさん」と慕われ、地域活動に励む上間吉夫さん（越地出身）趣味ではじめた手品はプロ級の腕前で、これまで各字子ども会をはじめ、村内外の幼稚園や保育所、老人ホームなどから出演の声がかかり

「自分のできるボランティア活動」として快く引き受けてきた。

上間さんが手品を始めたのは青年時代にさかのぼり、村の成人式が初舞台、その時、巧みに仕掛けたつもりのテグス（釣り糸）が観客には丸見えの大失敗。しかし、その失敗にめげることなくテレビやテキストを参考に独学で技をみがき、ネタを増していった。

「いつも同じ手品では見る人もあきてしまい、たえず新しいネタを取り入れていくのが大変なところ」と笑い「見せるからには喜ばれるものを」と舞台での間合いや観客との語りなどにも熱心に研究を重ねてきた」と話す。そんな夫の姿に妻の容子さ

んも全面的に支援、BGMの作成や公演のビデオ撮り、時には観客の目でアドバイスを送る中で上間さんオリジナルの新しい手品も生み出された。公演では数多くのレパトリリーの中から、観客に応じ七、八種類を披露。あざやかな手さばきのもと簡単そうに見える手品に時には子どもたちから「これできるー」との声もあがる、そんな時にはあえて「ちよつとやってみなさい」と勧め、実際、思うようにうまくいかない子どもたちに何事も簡単にはいかない、やさしそうにやっている裏には見えない努力があると「努力の大切さ」を手品を通して子ども達に伝えていく。

一昨年、村の人材バンクに登録されてからは出演依頼が多くなり今まで以上に忙しい日々を過ごしているなか、「私はプロではないから見ると人に『夢を与える』のではなく『夢を運ぶ』という思いで続けている。手品は人と人との潤滑油、自然と会話も進むし、自分自身もけっこう楽しんでやっていますよ」と充実した笑顔で答えてくれた。

## 地域の歴史 文化を探る

平成12年度ムラ・シマ講座修了



▲謝名の神アサギの調査 (平成12年6月)

平成十二年度第八期ムラ・シマ講座の修了式が、去る三月十八日（日）、今帰仁村歴史文化センターの講堂で行われた。

今年で八年目を迎えたムラ・シマ講座は、今年度は小学校一年生から九十三歳まで、村内だけでなく名護・大宜味・本部・中城村・那覇市などから総勢四十八名が受講した。

今年度の調査地は、世界遺産登録を視野に入れて、今帰仁グスクからスタートし、謝名・仲宗根・瀬底・勢理客・運天・仲尾（名護市）の各字をウタキ・神アサギ・湧泉・集落・芭蕉布・炭焼き窯などの項目に

ついて調査・記録を行った。

修了式では修了証書の他、参加者の記録ノートをもとめた三五〇ページ余りの冊子を一人ひとりに手渡した。感想の発表では「ウタキや神アサギがどの字にも必ず毎回あった」（兼小・金城健人君）、「炭焼き窯の煙が少しづつ違ってくることを発見した」（今小・仲松友博君）、「運天での水汲みは楽しかったけど大変だった」（湧小・大城美幸さん）、「ワラザンで計算するって昔の人はえらいな」（上本部小・本山みのりさん）など、講座で発見したことを、それぞれの視点で発表し、厚い冊子を手一年を振り返った。



# ナイスシュート! 優勝

今帰仁小 (男子)  
兼 次小 (女子)

第16回村少年少女ホッケー大会



▲スティック片手にゴール前での攻防に力が入る

ホッケー競技の普及と村内子ども達の親睦を目的とした第十六回少年少女ホッケー大会が三月四日、村運動公園ホッケー場で行われた。大会には、村内小学校から男子八チーム、女子四チームが参加、子ども達は、吹きぬける冷たい北風をものともせず、巧みなスティックさばき

を見せるなど、元気あふれるプレーでグラウンドを駆け回っていた。試合の結果、男子の部は、少ないチャンスをものにした今帰仁小学校チームが優勝、女子の部は体力に勝る兼次小学校チームが全試合で快勝し栄冠を勝ち取った。



▲表彰を喜ぶ村老人会の皆さん

二十一世紀のスタートの年に何か良い思い出に残る企画はできないものかというろいろの思案していたところ、年齢を重ねるごとに、チムガナサル、北山高校時代の同級生の数名からクラス会をしようじゃないかという話もち上がり、平成十三年二月十日(土曜日)午後七時より、でいご荘(今帰仁村在)にて開催する事に決定。卒業して三十九年振りのクラス会は初恋の女性に

過ぎし気心も良く知れた仲の良い連中が数十年振りの再会に肩を抱き合ったり、握手をしたり感激で喜び会った。会は税理士をしている嘉陽宗盛氏の代表あいさつに始まり、トキワ薬品社長・島袋薫

しく友情を暖めることができ。還暦を三年後に迎え人生これからは「ゆつたりと」「おおらかに」「人をみとめて」「明るく前向きに」「たのしむのだ」の五



北山高校十四期生・三組

## クラス会の思い出

仲里 邦夫 (57)

でも会うような心境であった。当日はあいにくの雨で集まりが気になったが、開会時間前には予定していた顔ぶれが全員出席。青春時代、北山高校で三年間同じクラスで共に

氏の力強い乾杯の音頭、まだまだ若い男性、昔かわいかった女生徒の近況報告、カラオケへと進み会は最高に盛り上がり、大村光邦氏の特別な計らいで、今宵一時は仕事の事、家族の事を忘れて遅くまで楽

訓をモットーに同級生の皆さん人生を楽しもう。そして今回、都合がつかず参加できなかったクラスメイトとも三年後には会えることを祈る。

〒905-0401

沖縄県今帰仁村字仲宗根

354番地

仲里 邦夫

☎0980-56-2008

☎0980-56-5467

「広報なきじん」では、村地や行政の意見や感想を募集しています。顔写真(六〇〇字以内)を添え、役場総務課(56-2101)に送ってください。取材の都合により掲載できない場合があります。お問い合わせは、0980-56-5467まで。

## 村老人クラブなど 本部署から表彰

本部警察署(津波古稔署長)が部外功労団体、個人に贈る感謝状の贈呈式が二月十六日、同署で行われ、本村からは、団体の部に今帰仁村老人会(山内昌雄会長)が、また、個人の部には與那嶺好和さん(仲宗根)、玉城和保さん(古宇利)、上間義昭さん(運天)の三氏が表彰を受けた。これは、平成十二年度中に、青少年の健全育成やサミットへの協力、交通安全の普及、啓蒙などに深い理解と関心を示し、警察業務各般にわたり積極的な協力が認められたもので、津波古稔署長から一人ひとりに功労を称える感謝状と記念品が手渡された。

# 保健婦 だより

日差しも一段と春らしさを  
感じさせる今日このごろ、村  
民の皆様いかがお過ごしでし  
ようか。

村では、平成十一年度か  
ら、ゆいまーる地区健康づく  
り事業と保健推進員育成事業  
を実施しています。今回は、  
保健推進員育成事業について  
ご紹介したいと思います。

村民の一人ひとりが、自分  
や家族の健康を守り、より良  
くしていくためには、日常生  
活の中で健康づくりができる  
ような環境を整えることや、  
健康づくりを応援してくれる  
人材を育成する事が大切です。  
保健推進員とは、いわゆる  
「健康づくり応援団」で



▲日頃から調理法の工夫や栄養面でも気を使うようになった

きと考えられるよう  
になった。  
・水中運動の効果や  
方法を教えてもら  
い、時間を決めてプ  
ールに行くようにな  
り、とても楽しい。  
・お椀を小さな物に  
かえたり調理法を工  
夫するなど、栄養面  
に気をつけるよう  
になった。など、  
修了した保健推進  
員から、「育成事業  
で学んだ『操体法』を

す。ボランティアとして活動  
される皆さん自身も行政と一  
緒に健康づくり活動をするこ  
とで健康についての知識を得  
ています。「自分の健康づく  
りにもなる」ということが、  
保健推進員さんへのプレゼン  
トです。  
保健推進員育成事業を通し  
て得た知識と、「学んで良か  
った、他の人にも広めたい」  
という意欲をもとに、地域に  
おける健康づくり運動の輪を  
中心になって広げていくこと

が保健推進員の役割です。  
村内十九の各字より、2、  
3名を保健推進員として、一  
年目は「保健推進員育成事  
業」という健康教室に参加し  
てもらい、栄養・運動・休養  
について学んでいきます。平  
成十一年、十二年と、現在四  
七名の保健推進員がこの事業  
を修了していますが、左記の  
通りの感想が出ています。

## 受講生の声 (平成12年度)



▲推進員の活動は自分自身の健康にもつながる...

## 募集します 保健推進員

保健推進員を平成13年  
4月末日まで募集します。  
お問い合わせは村保健予防  
課まで。

TEL 56-1234

多くの人にも広めたいので、  
勉強会をしよう」という声  
が出ており、平成十三年度はそ  
れに向けての活動をする予定  
です。併せて平成十三年度も  
育成事業を実施します。ぜひ  
あなたも保健推進員として、  
一緒に健康づくりをしてみま  
せんか。

## 高規格救急車 導入する

— 本今消防本部 —



本部町今婦仁村消防組合で  
は、このほど最新の高規格救  
急自動車を導入した。

導入した救急車には、これ  
までの救急車にはない搬送医  
療施設への心電図電送装置や  
自動心臓マッサージ機等、よ  
り高度な救命処置が行える機  
材が積載されており、患者搬  
送中においても医師の指示の  
もと医療行為が行える救急救  
命士によって早急な医療処置  
が可能となった。また活動範  
囲も本部町、今婦仁村管内を  
はじめ伊江、伊是名、伊平屋  
からの救急患者の搬送にも携  
わるなど、関係者は「導入に  
より救命率が向上し、今後の  
人命救助活動に大きく貢献す  
るもの」と期待を寄せている。

# くらしの 知って得する情報

## 平成13年度 村の公共工事・建設事業計画

No.	主な事業の名称	場所	発注 予定月	工種	No.	主な事業の名称	場所	発注 予定月	工種
1	中央線7工区道路改築工事	今泊	H13.7	道路改築	9	諸志山釜原線道路改良工事	諸志	H13.8	道路改良
2	中央線8工区道路改築工事	諸志	H13.7	〃	10	仲尾次尾山線改良工事	仲尾次	H13.8	林道改良
3	仲尾次前平当原線特改一種工事	仲尾次	H13.7	道路改良	11	兼次農道整備工事	兼次	H13.8	農道改良
4	上運天大久保原線道路改良工事	上運天	H13.7	〃	12	並型魚礁設置工事	運天	H13.7	魚礁製作沈設
5	中央線歩道舗装工事	越地～平敷	H13.8	歩道舗装	13	運天漁港局部改良工事	運天	H13.9	漁港改良
6	集落地域事業1	諸志	H13.7	農道改良	14	統合中学校建設事業	仲宗根	H13.9	校舍建築ほか
7	集落地域事業2	兼次	H13.8	集落道改良	15	今帰仁城跡整備事業	今泊	H13.10	今帰仁城跡郭崩落石撤去工事
8	集落地域事業3	今泊	H13.7	排水路改良	16	土地改良施設維持管理適正化事業	天底	H13.10	排水路浚渫工事

### みんないきいき元気なむら

## みんなが支える国民健康保険

～国保の健全運営に御協力を～



### 国保税の納め忘れはありませんか？

国民健康保険税は、みなさんが安心して治療を受けられるための大切な財源です。

国保加入者の一人ひとりが、公平に保険税を負担することで安心して医療を受けることができるのです。

保険税を滞納することは、きちんと納めている人との負担の公平を欠くこととなりますので、村では滞納世帯への訪問指導や納税相談などのほか、夜間、職員による電話での催促などあらゆる方法で納付の協力を呼びかけています。

それにもかかわらず、2月末日現在で3割近くの保険税がまだ納められていません。国民保険制度は保険税収入と国の補助金により病院等の費用を賄うことを原則とした社会保障制度です。納付された税金の割合が低くなると国からの補助金がペナルティーとして一部カット(表2)されます。

平成12年度には、国保税の約1割にあたる2千160万円余の減額が予想されるとともに安心して医療を受けることができません。国保はみんなでささえあう制度です。滞納することはみんなに迷惑をかけることとなります。

国保税をまだ納められてない方は今月末日までに必ず納めてください。

なお保険手帳未更新の方も早めに切り換えて下さい。

平成12年度国保税(一般現年度分)  
収納状況(平成12年2月末)

国保税総額	22,228万円
納付額	15,860万円
未納額	5,368万円
納付率	75.85%

納付率	カット額	納税割合
94%以上	0	0%
93%未満	1,117万円	5.13%
91%未満	1,564万円	7.13%
88%未満	2,160万円	9.73%
85%未満	2,458万円	11.20%



問い合わせ 村役場、国保係 56-2102(内線155)

国民年金からの  
お知らせ

# 4月は大きなチャンス! 前納するとお得!

国民年金は安心できる生活を保障します。

【便利でお得な、前納制度】

国民年金保険料

**得情報!!**

**2,830円割引!!**

**ここ一番の前納制度**

国民年金の保険料は一括して前納することができます。前納すると、毎月納める手間が省けるとともに、納める保険料の額も割引されます。

1年間分を、4月中に納めれば、2,830円割引されます。

**1年間前納 (平成13年度)**

月々納めた場合 1ヵ月の保険料  
13,300×12月=159,600円

前納した場合 **156,770円**  
2,830円割引

**6ヵ月前納 (平成13年度)**

月々納めた場合 1ヵ月の保険料  
13,300×6月=79,800円

前納した場合 **79,150円**  
650円割引

困った! 保険料が納められない。  
そんな時どうすればいいの?

- 所得が少なく、生活にお困りのとき
- 病気やケガなどで、経済的に困りのとき
- 失業や営業不振などでお困りのときなど



未納のままにせず、  
「国民年金保険料免除制度」  
をご利用ください

手続きはお早めに

免除は申請した月の前月から開始となります。

申請が遅れると、その分、免除の開始も遅れます。

申請に必要なもの

認印、年金手帳など

詳しくは、国民年金の窓口まで。

お問い合わせ 村役場住民課・国民年金係 ☎56-2101 (内線116)

## 2001県民フォーラム・イン・やんばる

テーマ:「新たな沖縄振興計画の策定に向けて」

目的: 新たな沖縄振興計画の策定にあたり、地域の声を今後の計画内容に反映させるために開催します。

期日: 平成13年4月16日(月) 午後2時から午後4時

場所: 名桜大学 多目的ホール

主催: 沖縄県

共催: 北部広域市町村圏事務組合 (北部12市町村)

連絡先: 北部広域市町村圏事務組合

TEL 0980-52-7049 大兼

## (財)沖縄県国際交流・人材育成財団

### 平成13年度大学貸与奨学生の募集について

- 1 応募資格: 日本国籍を有し、沖縄県内に本籍又は住所を有する者の子弟で、国内の大学・大学院に在学する者又は、沖縄県出身海外移住者の子弟で、主たる住所を海外に有し、県内の大学に在学する者
- 2 採用人員: 1 大学生・・・260人程度  
2 大学院生・・・20人程度  
3 沖縄県出身海外移住者子弟・・・若干名
- 3 募集期間: 平成13年3月15日(木)～平成13年4月20日(金)  
(郵送の場合も4月20日必着)

※なお、出願書類や貸与額などの詳しいことのお問い合わせは、下記まで

- 4 問い合わせ: 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団・奨学係  
電話(098)833-3613

「」 寄付

表紙・「美ら空間」

北山高三年

上野 加鈴



正面の道を歩いていくと、時代(とき)をきざんできた城跡の姿を見る事ができる。

今回、世界遺産に登録された今帰仁村のグスクをみんなで守っていけたらと思います。

おとば学園へ

○外間宏男さん(平敷一―二九)

より兄、宏和様の香典返しとして十万円

※ご芳志ありがとうございました。



○はごろもフーズ (静岡県清水市) より、車イス一台

○外間宏男さん(平敷一―二九)

より兄、宏和様の香典返しとして十万円

○今帰仁中学校・生徒会より校内募金並びに街頭募金活動の寄付金として七万八千七百二十三円

○高山春子さん(呉我山三六二)

より夫、朝友様の香典返しとして十万円

村社会福祉協議会へ

# 4月/卯月

1 日	
2 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
3 火	○与那嶺ゆいまーる事業
4 水	○リハビリ教室 (13:00～15:00 保健センター)
5 木	○区長会 (14:00～ 第1会議室) ○仲尾次ゆいまーる事業
6 金	
7 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)
8 日	○乙羽朝市 (7:30～9:00 中央公民館)
9 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
10 火	
11 水	○リハビリ教室 (13:00～15:00 保健センター) ○呉我山ゆいまーる事業
12 木	○1才半・3才児健康診査 (13:00～ 保健センター)
13 金	
14 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)
15 日	
16 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター) ○村親善チャリティーゴルフ大会 (7:00～ 嵐山ゴルフクラブ) ○牛セリ (10:00～ セリ市場)
17 火	○DPT (12:30～13:00受付 保健センター)
18 水	○リハビリ教室 (13:00～15:00 保健センター) ○古宇利ゆいまーる事業
19 木	○今泊ゆいまーる事業
20 金	○区長会 (13:00～ 2階会議室)

21 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)
22 日	○今帰仁漁協朝市 (9:00～ 今帰仁漁協内)
23 月	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター) ○こいのぼり掲揚式 (10:00～ コミセン)
24 火	○北山老人大学開講式 (14:00～ コミセン)
25 水	○リハビリ教室 (13:00～15:00 保健センター)
26 木	○デイケア
27 金	○渡喜仁ゆいまーる事業
28 土	○おもちゃ図書館 (9:00～12:00 コミセン)
29 日	○みどりの日
30 月	○振替休日

# 5月/皐月

1 火	○健康相談 (9:00～12:00 保健センター) ○与那嶺ゆいまーる事業
2 水	○リハビリ教室 (13:00～15:00 保健センター)
3 木	○憲法記念日
4 金	○国民の休日
5 土	○子どもの日
6 日	
7 月	○区長会 (14:00～ 第1会議室) ○健康相談 (9:00～12:00 保健センター)
8 火	○ポリオ (12:00～13:00受付 保健センター) ○仲尾次ゆいまーる事業



「好きだニャー。ワンもだよーん」と甘い言葉が聞こえて来そうな、犬と猫の幸せカップルが誕生！(写真) ▼イントウ、マヤー(イヌとネコ)といえは、仲の悪いたとえとしてよく使われる言葉だが、勢理客の上間公太くんの飼犬、チビ太(オス)の小屋には毎夜、猫のミーヤ(メス)が添い寝する仲むつまじい姿を見せている。▼我々人間の考える争いもなく、至って穏やかな二匹の幸せそうなくぐさに子どもたちも大喜びだとか。▼この様子だと、「イントウ、マヤー」という言葉も「仲がよい」という「ほめ言葉」に訂正しないといけないのかも。▼「広報なきじん」では、このような皆様からの珍しい出来事や心温まるホットな情報をお待ちしております。

## 編集後記